

第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
シンポジウム1
地域包括ケアと摂食嚥下障害
—高齢社会におけるリハビリテーションと摂食嚥下—



行政が取り組む摂食嚥下機能支援

東京都福祉保健局医療政策部
白井淳子

内 容

- 1 行政・保健所における
取組調査にあたって
- 2 東京都の概況
- 3 東京都摂食嚥下機能支援事業
- 4 都内区市町村の取組
- 5 行政施策としての摂食嚥下機能支援

1 行政・保健所における取組調査にあたって

全国を取組状況

◆
◆
◆
◆
行政が関わっている事例は
ほとんどない!?

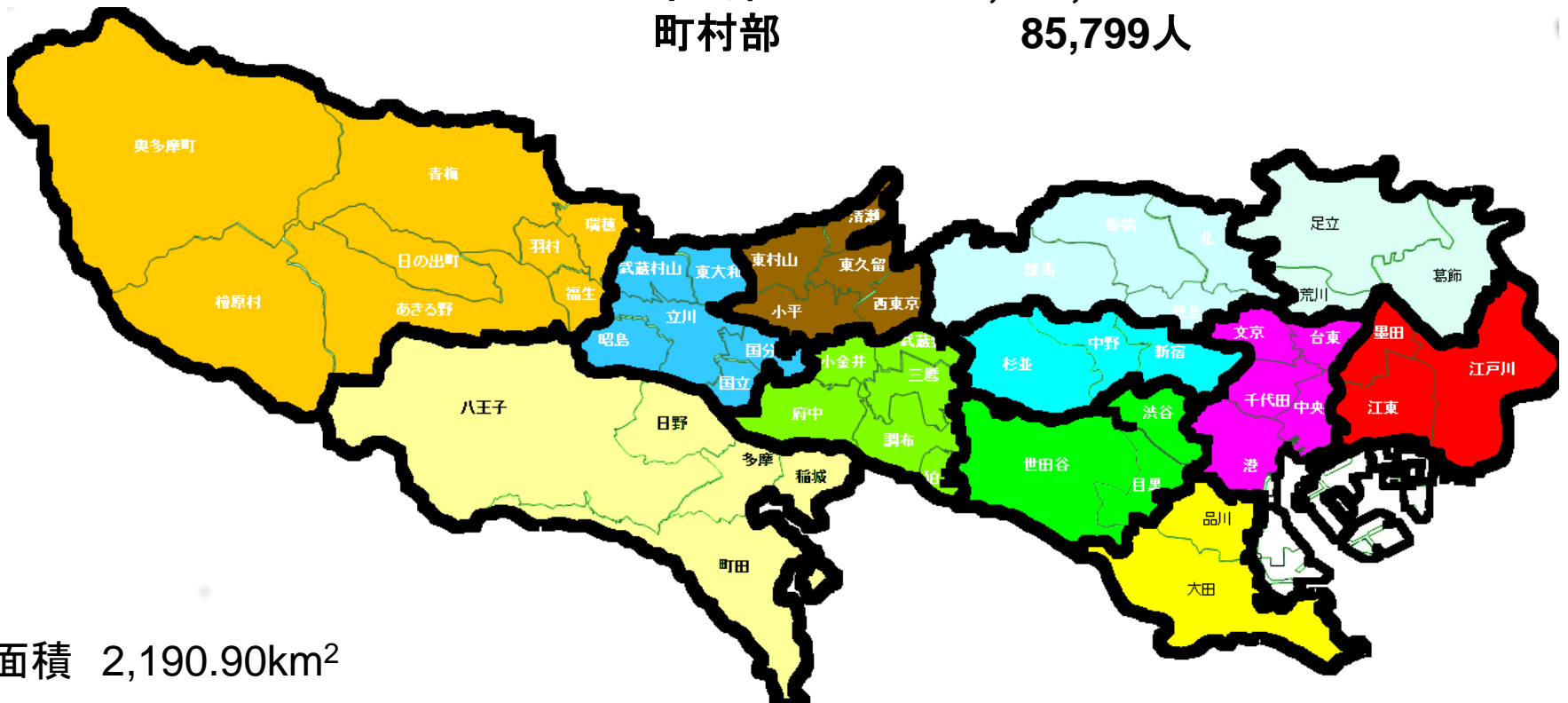
今年度、下記調査を予定しています!
全国歯科技術職連絡会（行歯会）会員へのWebアンケート
都道府県と保健所に対しての郵送アンケート

参考: 摂食嚥下障害を有する高齢者の地域支援体制の取り組み収集、分析に関する
調査研究事業報告書

平成26年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)

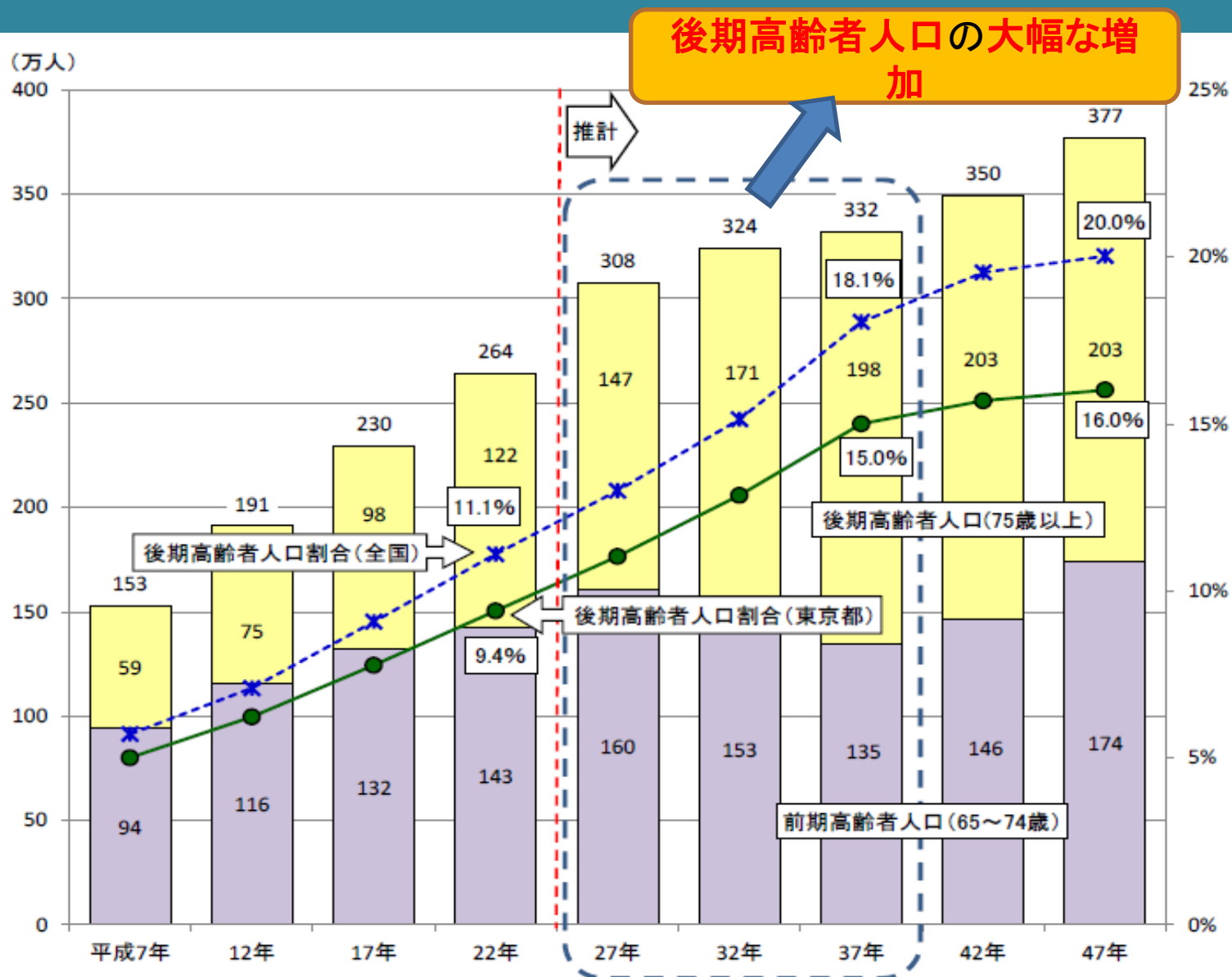
2 東京都の概況

人口 13,297,586人
(平成27年1月 住民基本台帳)
区部 9,102,598人
市部 4,109,189人
町村部 85,799人



面積 2,190.90km²

高齢者人口の推移



東京の高齢化

■ 高齢化の進行（率）

平成22年 ⇒ 20.4%

平成37年
約4人に

高齢者人口増加数・増加率（平成22年⇒平成37年）

65歳 増加数 68.0万人（1位） 増加率 25.7%（13位）
75歳 増加数 76.2万人（1位） 増加率 62.6%（8位）

（データ：総務省「国勢調査」（平成22年）【平成22年】
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推
計人口」（平成25年3月）[平成37年]）

平成
後期高齢
（約171万人）

平成37年 ⇒ 約198万人
平成47年 ⇒ 約203万人

（データ：国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月）[平成27年から平成47年まで]）

東京の高齢化を支える地域包括ケアの実現

入院医療機関の地域包括ケアシステムへの参画促進

- 在宅療養移行機能の充実
- 退院支援機能・後方支援機能の強化

他職種が相互に理解し、円滑に連携する体制

在宅療養生活を支える多職種連携に資する研修の実施

地域包括ケアの充実に向けた基盤づくり

- 在宅療養患者を支えるネットワークの構築
- 関係団体による連携連絡会
- 都民への普及啓発

訪問看護ステーションの 人材確保・負担軽減

- 勤務環境の向上
- 訪問看護師の定着促進
- 訪問看護ステーションにおけるクラークの活用

在宅療養患者に対する 歯科医療体制の充実

在宅歯科医療を実施するため、歯科診療所の設備を充実

地域における薬剤師の 在宅医療への参加促進

無菌調剤など、在宅医療のための知識・技能について研修を実施

地域包括ケアシステム



地域での生活を見越した支援

- 転退院支援の強化
- ・ 退院支援マニュアル
- 院内のみならず地域との連携ツールとして期待
- ・ 転院支援システム

急変時等の円滑な搬送体制

入院医療機関・かかりつけ医との連携により、病院救急車を活用した在宅療養患者等の搬送体制構築をモデル実施

医療と介護をつなぐ相談支援体制

- 区市町村による窓口設置の支援
- 在宅療養支援員の養成

入院医療機関

病院等
看護師・MSW

病院等
医師

かかりつけ医
・在宅医

訪問リハ

訪問
看護師

歯科医

薬局

介護サービス
事業者

ケアマネ
ジャー

在宅療養
支援窓口

区市町村
地域包括支援センター

3 東京都の摂食嚥下機能支援事業

(1) 摂食・嚥下評価専門研修・実地研修プログラムの開発

◆摂食・嚥下機能障害に関する知識の修得及び内視鏡検査を含む専門的評価法の基礎について学ぶ。

⇒ 都立心身障害者口腔保健センターで実施

◆摂食・嚥下機能評価を行い、指導及び訓練の指示ができる医師・歯科医師を育成する。また、行政とともに、地域で摂食・嚥下機能支援事業を立ち上げ推進するリーダーとなる医師・歯科医師を育成する。

◆摂食・嚥下リハビリテーションを担うコメディカルスタッフが、互いの職種の特徴・役割を理解し、総合的なチームケアを行うための基礎知識の共有化を図る。

⇒ 都内3医療機関に委託実施

(2) 地域における仕組みづくり

【目的】

◆地域における摂食・嚥下機能支援推進システムを構築する。

⇒ 多摩立川保健所（北多摩西部保健医療圏）において実施し、ガイドライン作成

(3) 東京都摂食・嚥下機能支援推進マニュアル作成

【目的】

◆ 北多摩西部保健医療圏のガイドラインをもとに摂食・嚥下機能支援の医療連携システムを都全体に普及させるためのマニュアルを作成する。

全都的な展開（平成23年度から）

- 区市町村が地域の実情に合わせた取組を行うための基盤整備を支援
→ 補助金
- これまで開発した人材育成プログラムを活用した体系的な人材育成を行う。

関係機関の役割

東京都

- ◆ 医療保健政策区市町村包括補助事業「摂食・嚥下機能支援推進事業」の活用推進
- ◆ 「摂食・嚥下機能支援推進事業」の牽引役となる医師・歯科医師・コメディカルスタッフ（看護師、歯科衛生士、セラピスト、栄養士など）の育成
- ◆ 都保健所は、市町村、地区医師会・地区歯科医師会間等の意見調整を図り連絡会を開催

区市町村

- ◆ 「摂食・嚥下機能支援推進事業」を主体的に展開

地区医師会・歯科医師会

- ◆ 医師・歯科医師の連携及び協力について協議
- ◆ 摂食・嚥下機能支援推進事業の牽引役となる医師、歯科医師の研修会への推薦
- ◆ 区市町村や関係団体と協力し、摂食・嚥下機能支援推進事業を推進

都立心身障害者口腔保健センター

- ◆ 「摂食・嚥下機能支援推進事業」を推進するリーダー及びコミディカルスタッフの育成を目的に摂食・嚥下機能支援に関する専門的体系的な研修を行う。
- ◆ 地域展開に必要な人材育成のノウハウを提供
- ◆ 特別区における事業を推進するため連絡会を開催

医療保健政策区市町村包括補助事業

(先駆的事業: 摂食・嚥下機能支援推進事業)

- ◆ 地域において摂食・嚥下機能支援事業を推進するため、区市町村が地域の関係者をメンバーとする協議会を設置し、地域特性に合わせて事業展開を図る。
- ◆ <<補助対象>>
協議会の設置、関係者・住民向け講演会等の普及啓発、医療資源・ニーズ調査 事例検討会、人材育成(機器・機材等の整備を含む)、摂食・嚥下機能支援センター設置
- ◆ 補助率 10 / 10 (3年間) 4年目からは 1 / 2

評価医養成研修（医師・歯科医師対象）

研修期間2年間

1年目

ステップ1 評価医養成研修Ⅰ

内容：摂食・嚥下機能障害に関する基礎的知識の付与（講義）

ステップ2 評価医養成研修Ⅱ

内容：評価専門研修プログラム（講義、相互実習）

2年目

ステップ3 評価医養成研修Ⅲ

内容：評価医実地研修プログラム（実地研修、事例検討）

リハビリチーム養成研修 (コメディカル向け)

研修期間2年間

1年目

ステップ1 リハビリチーム養成研修Ⅰ

内容：摂食・嚥下機能障害に関する基礎的知識の付与(講義)

ステップ2 リハビリチーム養成研修Ⅱ

内容：リハビリチーム養成研修プログラム(講義、相互実習)

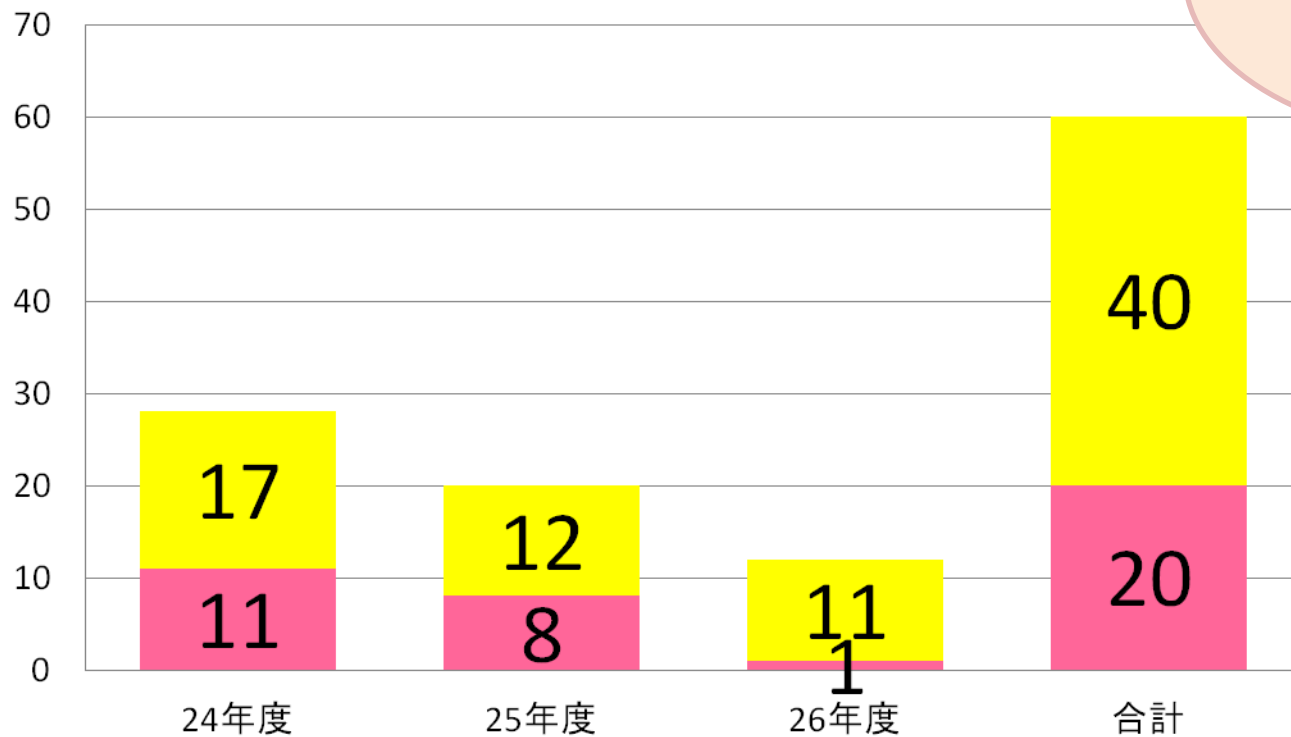
2年目

ステップ3 リハビリチーム養成研修Ⅲ

内容：リハビリチーム養成研修プログラム(実地研修、事例検討)

評価医養成研修受講修了者数

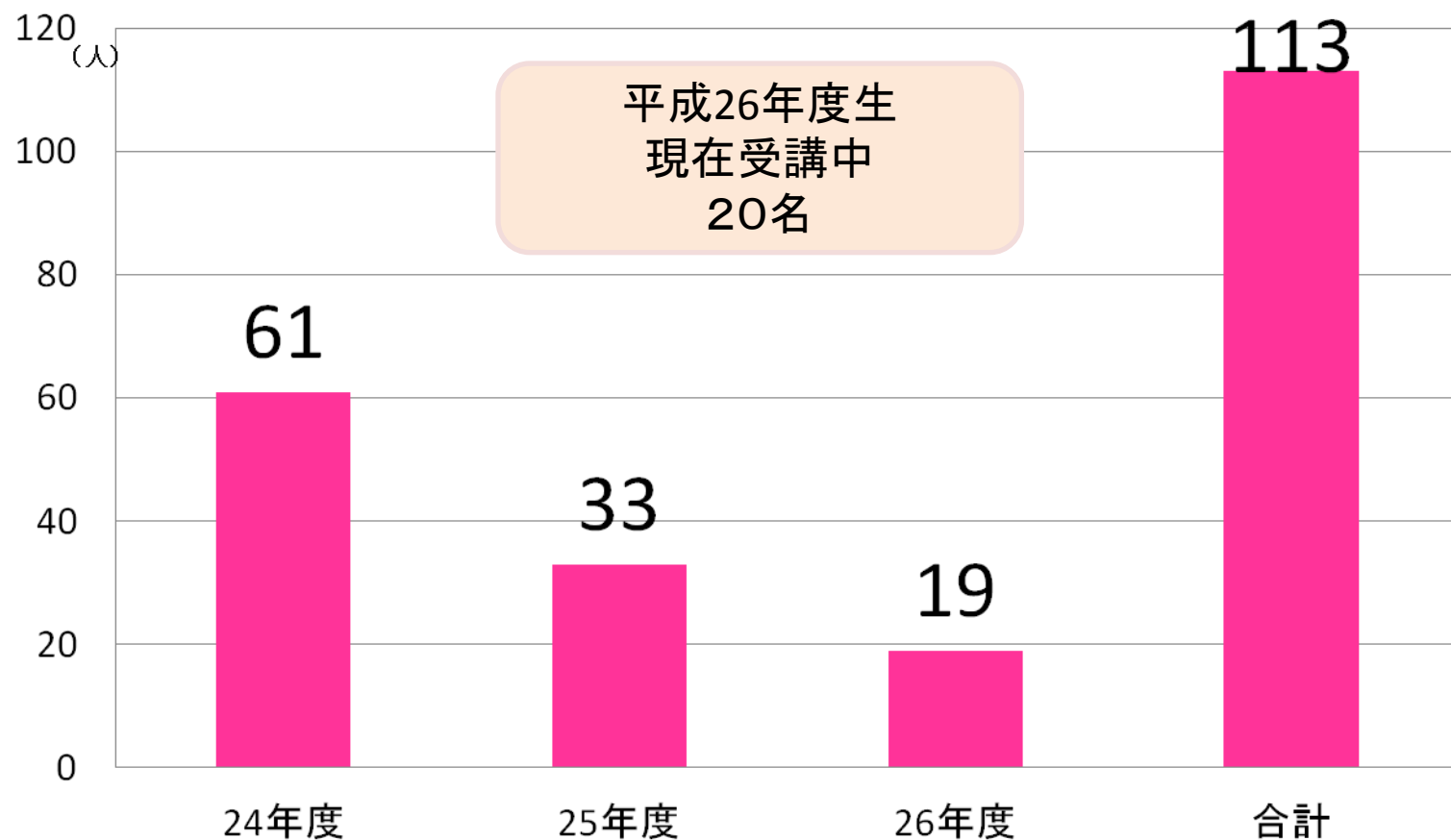
(人)



平成26年度生
現在受講中
医師13名
歯科医師17名

■ 歯科医師
■ 医師

リハビリチーム受講修了者数



人材養成の目標

平成23年度から平成27年度の5年間

(平成27年度生は平成28年度に修了確定)

目 標

【評価医】

30名/年 × 5年 ⇒ 150名

【リハビリテーションチーム】

90名/年 × 5年 ⇒ 450名

達成状況

【評価医】	修了者	60名	受講中	30名	27年度生	39名
【リハチーム】	修了者	113名	受講中	20名	27年度生	40名

4 都内区市町村の取組

- 会議の設置

(協議会・連絡会・検討会・ワーキング)

- 調査(資源)

- 関係者向

- 住民対象

- 関係者向

- 事例検討

- ツールの開発

- 口腔機能向上サービスに従事する施設職員の意識啓発
及び技術向上

- 相談窓口の設置

行政の得意分野は・・・

- ◆ネットワークの構築
- ◆システムの構築
- ◆普及啓発
- ◆連絡調整機能
- ◆必要な財源の確保

(作成など)

5 行政施策としての摂食嚥下機能支援

- ◆ 介護予防事業として
- ◆ 歯科保健医療対策として
- ◆ 脳卒中医療連携事業の一環として
- ◆ 食支援として
- ◆ 医科・歯科連携の推進のために
- ◆ 多職種連携の推進のために など

摂食嚥下機能支援は関係者の共通テーマとして
具体的に取り組むことができるため、
地域包括ケアシステム構築のツールとして有効



これから実施いたします
行政・保健所調査に
ご協力をお願いします。

ご清聴ありがとうございました

摂食嚥下に係る支援を必要とする方に
広く適切な支援が届くよう、関係者、関係機関、関係
団体による得意分野を生かした連携が進むことが望
まれます。